

# 関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>



QRコード

第29回  
No. 7

2018.1.16 発行  
編集 広報部

## 迎春

アコーディオン愛好家の皆様、初春のお慶びを申し上げます。

初詣や初夢などで、皆様早々と今年の目標を立てられたことでしょう。

関東アコは今年、第30回を迎えます。昨年同様、本年もどうぞよろしくご協力をお願い致します。

### 伴奏講座開催のお知らせ

2018年6月23日（土）～24日（日）

場 所 未定

募集定員 30名程度

講 師 池田健 橋本千香子

■全関西アコーディオン主催「ビバアコーディオン」が6月3日（日）に、また「東北アコーディオンジャンボリー」の開催も6月17日に予定されていることから、伴奏講座は上記日程での開催で準備しております。



### QRコードがご利用になれます

携帯電話、スマートホンのカメラでコードを読み取ることで関東アコのホームページへつながるようになりました。（QRコードはタイトル枠の中）

### お詫びと訂正

No.6号（（2017.10.30発行）に間違いがあったのでお詫びし、下記の通り訂正いたします。

■5ページ＜一般中級＞1位 渡部由美子 曲名（正）MOSAICO ESPAÑOL（誤）ESPA?OL

■6ページ＜一般上級＞2位 小林のり子 曲名（正）「バック・チェンの肖像」より 1.バック・チェンへの旅 2.マヤの共同体（印刷が乱れていました）

### 目次

■伴奏講座開催準備のお知らせ…1P ■アンケートまとめ…2～3P

■湘南オカリナフェスティバル…4P ■公開講座に参加して…5～6P ■荻窪音楽祭…6P

■山岡教室発表会…7P ■東京アコーディオン研究会…8P ■ホワイトボード…9～10P

## **アンケート結果**・・・2017年4月から6月にかけて実施

■30周年に向かって、そもそも「関東アコ」って必要な？そんな根本にまで立ち返ってみたいとの思いからの実施でした。出場経験のない方も含め 70 名の方から貴重な意見が寄せられました。ご協力ありがとうございました。(以下、主なまとめです)

### **A 回答者の年齢別内訳**

20代 (1) 30代 (2) 40代 (4) 50代 (10) 60代 (52) 不詳 (1) 計 (70)

### **B 演奏交流会を何で知りましたか**

サークルや教室 (55) 知人やチラシ (11) ホームページ (0) その他 (4)

### **C 演奏交流会への出場回数**

0回 (14) 1回 (11) 2～5回 (20) 6～10回 (11) 11～15回 (8) 16回以上 (6)

### **D 出場したことのある部**

ジュニア (0) 初心者 (7) シニア (11) 中級 (12) 上級 (5) 重奏 (20)

バンド/アンサンブル (10) 合奏 (20) ※複数答有

### **E 関東アコの必要性**

必要 (63) 必要ない (13) その他 (1)

- 形態はいろいろあっても、アコ愛好者の交流とスキルアップの場として必要。
- 参加者、審査員などの多くを JAA に頼んでいて、外からは JAA との違いを見つけられません。独自の道を行ってこそ「必要」になるのでは。
- 発表の場を求めている人達がいる。アコーディオンの色々な楽しみ方を広げられる。腕試しで契機となる。
- 気持ち的に負担を感じる。 ○ 交流会という呼び方はあいまい。 等々

### **F 希望する形態**

今まで通り (49) 交流の場 (13) その他 (1) 未記入 (7)

- コンクールという緊張の場は必要と思います。新しい曲や演奏者から学ぶことの意義は大いにあります。長年やっても上達しないが出てみたいけど勇気がない私のようなものでも気軽に一緒に弾いてみようという企画があればと思いますが、思いつきません。
- 独奏 → 重奏・合奏 → アコ祭り・・・3年周期にしたら負担が軽くなる？
- コンクール形式でなくても、各サークルの発表の機会となれば、交流も深まり、上達も図れると思う。
- 1位になることだけ考え、血眼になっている団体、個人もいるようですね。

### **M 新しい交流企画について**

- 「ミュゼットパーティー」「タンゴパーティー」などジャンルに特化した（コンクールではなく）アコーディオンを弾きあう会など。色々なジャンルでやってみる。
- 関東アコの「歌声喫茶」を企画して、伴奏者の実践の育成はどうですか？
- 講座の回数が増えると嬉しいですが。但し、宿泊形式ではなく日帰りが希望です。
- 伴奏講座は、歌声の伴奏をしている者にとってとても役に立つと思う。参加したいと思うが遠いので残念だ。

### **N 30周年企画について**

- マーチング・アコーディオンバンドを結成する。

- 関東アコへの出場経験があり、現在プロまたは半プロ or 講師として活躍されている方々のコンサート（高くて無理？）
- みんなで合同合奏ができるといいですね。
- アコーディオンのグッズを販売してほしい（例：バッチ、ブローチ、ペンダント、等）
- 演奏交流会の開催場所をたまには東北地方（仙台）を希望します。
- ①町の中に出て（建物・屋内から出て）パレードやパフォーマンス（演奏）するなどして、アコーディオンの楽しさを町の人々に PR する。②御喜美江先生対希望者とのアンサンブル。

## O 感想、意見など

- 毎年、長年にわたり続いているので、みなさんの演奏を都合の付くときに聴きに行き、会を楽しみにしています。
- 仕事だけではなく、何らかの形でお手伝いに参加することで、続いてきた灯を消さないで欲しいと思います。関西や東北の方々と共に若者たちと進められるといいですね。
- 出前演奏など PR しては。
- 1年おきに、ソロと重奏などをやるのはとても良いと思います。誰でも参加できて、なおかつ評価されるのは、演奏者にも観客にも楽しいと思います。
- 参加費がどんどん高くなるのは参加しにくくなる。特に合奏の2,500円は・・・？一人に返すメリットとしては高い。独奏も初心者と子どもは4,000円～5,000円とかにしたらどうか。
- 独奏部門ですが、参加者のレベルが高いようにいつも感じています。本当に初級クラスの人でも参加できるような場面もつくってもらえたらと思います。
- 皆さんからいただいた貴重なアンケートのとりまとめとその有効活用をお願いします。
- シニアのソロに出たとき、審査員の先生方が各自楽譜に詳しくコメントを書いて返却いただきました。このコメントが弾くものにとって非常に参考になりました。
- ニュースを送っていただいて読ませていただいています。遠くまで取材に行き記事にされていること、本当にご苦労様です。それにつけても郵便料などの費用はどうされているのか気になります。交流会当日のプログラムに広告を載せることで少しでも役立つならと掲載してもらっています。
- ①アコ歴5年を過ぎたけど60歳未満の出場者は、レベルに関係なく中級になるのですかね（？）う～んと考えてしまいますが・・・②年齢による区分ではない区分はないものでしょうか、グレードなどの区分に関係のない“ほのぼのコース”とかがあるとうれしいですね。

## G 実行委員会ニュースについて

届いている (10) 読んでいる (53) 読んでいない (2) 届いていない (2)

## H ホームページについて

見たことがある (36) 見たことがない (33) 未記入 (1)

## J 実行委員会に参加したいと思いますか

代表を送っている (15) 代表を送るか未定 (6) 送る予定がない (5) 未記入 (14)

## K お手伝いに参加できますか

参加したい (8) 参加できない (47)

■アンケートの結果は、さらなる活動の広がり話し合う中で参考にさせていただきます。

## ♪「湘南オカリナフェスティバル」に出演♪

日時：2017年8月27日(日)11時開演 会場：桜木町、はまぎんホール

—少々時期外れの報告ですが—

「ぼん・ぽこ と E&K」は、第28回関東アコーディオン演奏交流会（2016年）のバンド/アンサンブルの部出場を機に結成された、オカリナ（夫婦デュオ）とアコーディオン（東京アコーディオン研究会員）のユニットです。

その後も千葉県と埼玉県を往復し、小旅行を兼ねながら練習を楽しんでいます。

さて、題目の「湘南～」ですが、湘南地域を中心に全国からオカリナ愛好者が集い、日頃の練習を発表し、研鑽、交流する場で、毎年開催されていて今回は第6回目です。

初心者からプロまで、独奏から30人以上の大合奏まで、総出演者は400人を超え、その7～8割は中高年の方々です。（ちなみにオカリナの重量は300g前後で、手ごろな価格。日本のオカリナ人口が、300万人はいるというのも、うなずけます。）

プログラムは3部に渡り、46演目。ジャンルは童謡・歌謡曲からクラシックにオリジナル曲へと多岐にわたっていました。

そんな中で、私たちは「さんぽ」と「小さな日記」を演奏（写真2）。マイク音量offのアクシデントもぽこさんの絶妙なトークで会場を沸かし、演奏においては、「初めて聴いたけど、良かった」「オカリナとアコは相性がバッチリ！」「かけ合いがきれいだった」「アコの音色が優しい・・・」等々、嬉し

い感想が届きました。

演奏終了間際のテンポのズレは反省材料として、「来年もぜひ出場を！」のラブコールに尚一層の意欲が湧いてきました。そして、共に「気鳴楽器」であること、「空気」と「気持」を大切に練習に励みます。

では、5月に「水戸オカリナフェスティバル」に行ってきます。

ぼん・ぽこ と E&K（文責：岡田）

※（写真1）30名を超える「湘南オーシャンブルー」の皆さん。演奏曲は「イエスタディ・ワンス・モア」「あ・り・が・と・うの歌」



（写真2）「ぼん・ぽこ と E&K」の様子



（写真3）湘南七重奏団の皆さん。演奏曲は「夢雲」「イツ・オンリー・ア・ペーパームーン」



## 公開講座を聴講して テーマ「アコーディオン」 特別講師:大田智美氏

少し前のことですが、去年の9月12日、国立音楽大学でひらかれた公開講座を聴講いたしました。作曲がご専門の川島素晴准教授主催のワークショップで、テーマはアコーディオン。10 数人の学生さんを前に、特別講師の大田智美先生が、アコーディオンの歴史から、楽器の仕組み、譜面の読解まで、およそ2時間にわたって、ていねいに説明し、そのあいだに生演奏も入るとい、とても内容の濃い、ぜいたくな授業でした。

アコーディオンの愛好家は、おそらく自分の楽器が世界でいちばん!!と思いつつも、別のモデルにも興味津々、という方が多いのではないのでしょうか。実は、わたしもその一人ですが、つついブランドやスペックの違いにばかり目が行って、基本的なシステムのことについてはまるで無知なことに、あらためて愕然としました。

たとえば、スイッチの切り替えで、左のボタンをフリーベースとスタンダード・ベースに変えることができるコンバータ・システム。そのボタン配列に、世界で五つもの方式があるなんて、まるで知りませんでした。一番端の列にドが並ぶのがCシステムで、自分の楽器もそうですが、そのほかに、B システム、バヤン、フィンランド、クイントがあるのだそうです。

さらに興味深かったのが、現代音楽でつかわれる譜面をどのように解釈するか、というコーナー。実際の楽譜を見ながら大田先生の演奏と聞き比べ、作曲家が記譜によって演奏者にどんなメッセージを送って

いるか、理解することが目的です。

とはいっても、例に出された細川俊夫氏の「メロディア」の譜面は、音の指示と強弱が記されているのみで、あとは長い横線が引っ張られているだけ。各段のうえには、定規にあるような刻みがついていて、それが、音を持続させる時間をあらわしている。一見しただけでは何のことやらまるでわからず、読み解くのは象形文字並みの難しさ! なのに、いったんプロの手で演奏されると、繊細な和音が積み重ねられる「音楽」になるのだから、とっても不思議です。

最後に、アコーディオンでできること、できないことを大田先生が説明してくださいました。

●鍵盤アコでは簡単な白鍵のグリッサンドは、ボタン・アコではほぼ不可能。その代り、ボタン・アコでは和音のグリッサンドができる。

●レジスターを半押しにすると、レジスターにはない音が出せる。

●トレモロやビブラートは、細かいペロシェイクや、左手を震わせて行う。

●ポルタメントは、音を下げる方はできるが、音を上げる方は難しい。また、高音は、リードの振動幅が少ないので、ポルタメントは出しにくい。

●使える空気の量が決まっているので、右手でクレッシェンドしながら左手でデクレッシェンドする、などの操作は難しい。

授業が終わって、学生さんの感想を聞きました。

●左手ベースのボックスをあけてみると、針金がそれはもう複雑に入り組んでいるので、びっくりした。本当にメカっぽい！

●楽器が重い!! えっ、15kg もあるんですか。

●ベローは演奏者の腕の長さだけ伸びるんですね。操作に力が要りそう。それで左手のボタンも押さなきゃならないから、さぞかし大変だと思う。

今回の講座に出席した学生さんのうち、4 人がアコーディオンの曲を作曲してく

れるそう。できた曲を大田先生が試奏し、作曲者とさらに煮詰めて、その後 1 月 29 日に両国門天ホールで発表されます。(この演奏会の詳細につきましては、ホワイト・ボードをご覧ください。)

新たな可能性を秘めた楽器として、いま作曲家はアコーディオンに高い関心を寄せているとのこと。今回の授業から、どんな曲が生まれるのか、とても楽しみです。

ついでに、わたしたちアマチュアにも弾けるような、簡単で素敵な曲も、どんどん作曲してくださいね!! そう学生さんをお願いしちゃいました。

(後平澤子さん寄稿)



### ♪「第30回 荻窪音楽祭」ぶらり訪問記 ♪

日時: 2017年11月12日(日)14:00~15:15 会場: 杉並公会堂小ホール／入場無料

音楽祭は11月10日(金)・11日(土)・12日(日)《自主企画を含めると11月9日(木)から》の期間荻窪駅前広場や周辺施設のロビーやフロア、教会、公会堂など29の会場が用意されてい



ると案内にありました。左の写真は駅前北口広場テント会場(12日)の様子。

アコーディオン仲間の出番は、11月12日(日)杉並公会堂小ホールでの第2部(14時開演)の中と聞いていたので、ちょっと早めに入場して、第2部の最初から聴いてみました。

1番目と3番目はソプラノとピアノによるオペラで、「ジャンニ・スキッキ」より『私のお父さん』とか「ラ・ボエーム」より『私が街を歩くと』など数曲ずつ歌っ

ていました。

2番目がアコーディオンの入ったアンサンブルでした。【Team P】のユニット名で活動している方たちです。2011年春に結成。高校・大学を通じてオーケストラで活動した同世代の仲間。2012年から「荻窪音楽祭」に参加。とプログラムで紹介されています。(一部を転記)

メンバーは、アコーディオン(後平澤子)、チェロ(森田 宏)、コントラバス(中島隆男)、ピアノ(米沢典剛)です。演奏曲は、A. ピアソラ:「孤独の歳月」と「アディオス・ノニーノ」の2曲でした。

オペラの良さは私にはわかりませんでしたけれども、オペラで伴奏されたピアノの柔らかい音色と、2番目のピアソラで演奏された力強く打ちおろすピアノの響きとの対比が鮮やかで普段味わえない良い体験をさせていただきました。(記: 乙津)



## ♪「第25回 山岡アコーディオン教室発表演奏会」ぶらり訪問記♪

日時：2017年11月18日(土)14:30～18:00 会場：船橋市勤労市民センターホール／入場無料

(写真：主催者提供)

この日は所用があり、聴きに行こうか迷いましたが、終了までまだ時間があつたのと、予定している40名近い大合奏を楽しみに後半だけでも聴こうと電車で飛び乗りました。

プログラムを拝見すると、第一部終了後の休憩と第二部開始の間に「Family Sound Plaza」のコーナーがあります。筆者が聴くことができたのは、このコーナーのちょうど真ん中、3曲目の「想いの届く日」からでしたので、第一部の独奏18曲、二重奏の「ブルータンゴ」、「黒い瞳のタンゴ」、四重奏の「ムーンライト セレナーデ」(A.グレン・ミラー/指揮：丘ひろこ)を紹介できないのは心残りですが、聴くことのできた中から一部紹介してみます。

このコーナーでは最初に Tito Monte 氏のアコーディオンソロで「プレリュード」(A.ウ・オルヒ)があり、「夜のタンゴ」(H.O.ボルグマン：Vo.丘ひろこ / Acc.山岡 秀明)で歌とアコーディオン伴奏が続き、「想いの届く日」(C.ガルデル：Vo.丘ひろこ / Acc.山岡 秀明 / Pf.Tito Monte / Bs.寺田 和正)では、歌とピアノ、アコーディオン、コントラバスのアンサンブル。また、他2曲のうち最後の「ジョリーカバレロ」(P.フロシーニ)ではヴォーカルの丘ひろこ氏もピアノの Tito Monte 氏もアコーディオンに持ち替えて、アコ3台とコントラバスの四重奏をされ、それぞれ変化を持たせた組立になっていました。

この「Family Sound Plaza」の中から、4番目

の「A 列車で行こう」はコントラバスのベース音が小気味よく響いていたのが印象的でした。最後(5番目)の「ジョリーカバレロ」はアコーディオン3台の息の合ったきれいな指さばきは見事でした。

第二部はまず独奏が6曲(「ラ・ヴァレンス」「帰ってきたツバメ」「薔薇のワルツ」他)、次に東京アコーディオンアンサンブル(山岡アコーディオン教室、東京教室の皆さん)7人のアコによる合奏で「フロンティナー マーチ」、その後独奏が6人続き最後の独奏は講師の山岡 秀明氏で曲は「ノラ」でした(写真)

『第二部で演奏する人たちはみんなしっかりした演奏で上手だね』と客席から聞こえました。

初めて聴く曲もいくつかあり、みなさん細かい音がとてもきれいなのに感心しました。

この後アコーディオンアンサンブル『総(ふさ)』(1984年、市原アコーディオンクラブとして発足。2007年、第20回目の演奏会を機にアンサンブル名を「総」に変更現在に至る：司会コメントより)12名による「真珠とりのタンゴ」。

最後は5年を節目として、生徒全員で記念に行っているという大合奏、今年は「威風堂々」(アコ38台、コントラバス、パーカッション)の演奏で幕を降ろしました。久しぶりに聴く素敵な大合奏でドラムスのテンポに合わせて帰途につきました。(記：乙津)



## ♪「あこけんコンサート」ぶらり訪問記♪

日時: 2017年11月26日(日)14:30～ 会場: 牛込簞笥地域センター5階多目的ホール／入場無料  
(写真: 主催者提供)

オープニングは、シニアクラスには懐かしい TV の料理番組(キューピー3分間クッキング)で使われたテーマソングで「おもちゃの兵隊のマーチ」という曲名が付いていると紹介がありました。

緊張していた客席の顔もゆるみ楽しいコンサートになることを予感させたのではないのでしょうか。それともう1曲「アンネンポルカ」を全員合奏。指揮は指導に当たる柴崎和圭氏です。2曲目の「アンネンポルカ」はヨハン・シュトラウスの曲で、テンポはゆっくりだけれど優雅な踊りを感じさせる演奏で、しつかりしたベースの音が記憶に残っています。

司会より・・・現在の名称「東京アコーディオン研究会」は結成して50年になること(発足当時の名称は東京労音アコーディオン研究会)。半世紀の中で、伴奏を担当されていたピアニスト、指導者であった浜名先生、生徒数名の他界された仲間の紹介があり、『今日の演奏をきっとどこかで見ていてくれると思うので一生懸命演奏します』とおっしゃっていました。

前半の独奏の中の「ガブリエラの歌」は10年前ほどのスウェーデン映画「歓びを歌にのせて」の中でガブリエラという女性が歌っています。と紹介されました。友達から教えてもらった日本語の歌詞が素敵だったので練習曲にされたそうです。

過去を回想しているのでしょうか、大河が洋々と流れるような、そんな広がりを感じさせる演奏でした。

ゲストをまじえた四重奏「ベートーベン弦楽四重奏曲第5番第三楽章」は4台のアコーディオンだけで9分近い複雑な音の絡み合いをていねいに演奏されて素敵でした。ファゴットのような木管の音色が耳に残っています。

前半の最後は全員合奏。演奏曲は「ニュー・シネマ・パラダイス」この曲も映画の曲ですが、観ていないので検索です。

イタリアはシチリア島にある小さな教会を兼ねた映画館「パラダイス座」(たった一つの娯楽施設)を舞台にトと呼ばれていた少年サルヴァトーレの青春時代を回想する映画のようです。日本で上映された際には好評を博し40週間のロング上演だったと司会者のコメントです。演奏が夢心地のよ

うな比較的ゆったりとしたテンポだったのは、映画のシーンを表現していたのだなとこの原稿を書きながら思いました。

後半は「一緒にうたいましょう」で最初は『あの日に帰りたい』を立奏で伴奏、次の『紅葉』から伴奏者が交代(写真左)し『花の街』『四季の歌』『愛に生き平和に生きる』の4曲を一緒にうたいました。客席も合いの手を入れたり上の旋律を歌う方がいたり自然に合唱のようになる場面が見られました。



続いては二重奏で「黒い瞳」変化に富んだ初めて聴く編曲でした。もう1曲、二重奏での「アン・アマテュール」は三拍子の明るい曲です。(下の写真)

再び独奏で3人。1人目

は、三橋美智也の歌でおなじみの「古城」、続いての「逢いたくて逢いたくて」は、



しつとり聴かせる演奏で、歌謡

曲があってもいいのじゃないかと選んだそうです。独奏の最後は「シャコンヌ」重音の連続がきれいな演奏です。

最後は「アインザマーヒルテ」と「ラルゴ」の2曲を全員で合奏して終演となりました。(下の写真) 2曲ともゆっくりした曲で年末にかけて何かとせわしくなるこの時期、1年を振り返るのにぴったりだったのではないのでしょうか。



アンコールはアルプス一万尺・ねこふんじやったなどのいいとこ取りメドレーを客席の手拍子とともに演奏。そして「ふる里」を一緒にうたって家路につきました。

(記: 乙津)



..... ホワイトボード (連絡はがきその他より) .....

♪タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪ \*谷口楽器のホームページより\*

会 場 谷口楽器4階アコーディオン売り場 ◆住所 千代田区神田駿河台1-8 タニグチビル4階  
第185回 2018年1月28日(日) 13:00~14:10 講師: 加藤徹氏「コンサーティナ(入門と試奏の会)」  
第186回 2018年2月18日(日) 13:00~14:10 講師: 安西創氏「ミュゼットアコデコボコ道中(19)」  
第187回 2018年3月18日(日) 13:00~14:10 講師: 横内信也氏

「スタジオミュージシャンとしてのよもやま話と演奏」

問合せ 要予約 TEL03-3291-2711 Fax 03-3291-5188 ★各回定員20名(入場無料)

<http://www.taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

.....  
♪蛇石れいこ・ソロライブ「2018 へびはじめ」♪ \*田ノ岡三郎氏のホームページより\*

日 時 2018年1月24日(水) 開場/19:30 開演/20:00

会 場 表参道 ZIMAGINE ジマジン 港区南青山 6-2-13 ファイン青山 B1 03-6679-5833

出 演 蛇石れいこ(Vocal&Piano) 田ノ岡三郎(Accordion)

チャージ予約 2,500 円 当日 3,000 円(別途1ドリンクオーダー)

<http://zimage.genonsha.co.jp/> ■田ノ岡三郎ホームページ <http://tanooka.net>

.....  
♪みのすけ、草野とおる、山田晃士、田ノ岡三郎『あなたとセッション No.02』♪

日 時 2018年1月30日(火) 開場/19:00 開演/19:30 会 場 吉祥寺 STAR PINE'S CAFE

メールでのご予約: [tanookasaburolive@gmail.com](mailto:tanookasaburolive@gmail.com) 前売り 2,900 円/当日 3,300 円(drink 別)

.....  
♪曽我部清典&大田智美ジョイント・リサイタル♪ \*トランペットとアコーディオンによる新作品展\*

日 時 2018年1月29日(月) 19:00~21:00 料金 前売り・当日 1,000 円 学生・門天会員 500 円

会 場 両国門天ホール ★JR「両国」駅西口より徒歩5分

都営地下鉄大江戸線「両国」駅 A4、A5 出口より徒歩10分/同・浅草線「東日本橋」駅より徒歩10分

主 催 国立音楽大学作曲専修

出 演 曽我部清典(トランペット) 大田智美(アコーディオン) ゲスト出演 山田岳(ギター)

コメント 学生による全7曲の新作と授業担当者、川島素晴によるデュオ新作、さらに2017年に初演された篠田昌伸のトリオが演奏されます。

予約・問合せ [actionmusic@ktj.biglobe.ne.jp](mailto:actionmusic@ktj.biglobe.ne.jp) (川島素晴)

.....  
♪声の届くところ、思いのあるところ♪ \*オラン(平賀康子)ホームページ <http://lyze.jp/oranacco/> より \*

日 時 2018年2月2日(金) 開場/18:30 開演/19:20

会 場 学芸大学 アピア 40

出 演 青木マリ(vo,g)、オラン(vo,acc)、横瀬(vo,g)、野口明伸(vo,g)

料 金 前売り 2,000 円 当日 2,300 円(プラスドリンク)



.....  
日 時 2018年2月18日(日) 18:30から

会 場 祖師谷大蔵 cafe ムリウイ <http://www.ne.jp/asahi/cafe/muriwui/> 祖師谷大蔵北口商店街

出 演 オラン(acco,vo)+江森孝之(gt.)

料 金 投げ銭 (Order と席料 500 円) ★小田急線「祖師谷大蔵」駅より徒歩7分(こどもおとな歯科 3F)

.....  
♪音楽センターアコーディオン大田智美教室発表会♪

日 時 2018年2月4日(日) 14:30~

会 場 音楽センター B1 ホール ★JR 山の手線「新大久保」駅より徒歩10分

問合せ 音楽センター教育部 03-3208-8377

..... ホワイボード (連絡はがきその他より) .....

♪ 2018 合唱団 TOSEI 音楽会 ♪ \* 愛 夢 平和 この下町で歌い続けて 55 年 \*

日 時 2018年2月10日(土) 開場/17:30 開演/18:00

会 場 亀戸文化センター・カメリアホール ★JR東武線「亀戸」駅より徒歩1分(亀戸文化センター3階)

プログラム 《第1部 愛ある街で》・・・下町 青春 底力のタンゴ 愛ある街で 他

友情演奏 江東保育のうたごえ・しろつめくさ／東部のうたごえの仲間たち

《第2部 夢》・・・チェロ演奏 ゲスト:井村果奈枝

《第3部 平和に生きる》・・・たんぽぽ 一本の鉛筆 原発に頼るまい 歌って愛して 他

■指揮:江川勉 ピアノ:毛利正 アコーディオン:杉原哲郎

チケット 一般 1,500 円 中高生・障がい者 800円

問合せ 佐宗弘雄 090-8477-0686 井口知子 090-8581-3256

♪ 平日の午後にみんなで歌う会 ♪ \* どなたでも参加できます \*

日 時 2018年2月16日(金) 午後2時～4時(途中入退場可)

会 場 音楽センター会館・B1ホール ★JR山手線「新大久保」駅より8分／地下鉄「東新宿」駅より7分

進行・伴奏 新井幸子(うたごえアコーディオン演奏家)

会 費 予約(前日まで)1,000円／当日:1,100円(消費税込み)お茶代、歌集レンタル料含む

ホームページ <http://www.ongakucenter.co.jp/>

♪ セルビア ローラ民族音楽舞踏団 2018年日本公演日程 ♪ \* フォークダンスは KOL0 に始まり KOL0 に終わる \*

日 時 2018年2月27日(火) 13:30(プログラム A) 牛久市中央生涯学習センター文化ホール

日 時 2018年2月28日(水) 13:30(プログラム B) さいたま市文化センター

日 時 2018年3月1日(木) 13:30(プログラム B) 鎌倉芸術館

日 時 2018年3月2日(金) 13:30(プログラム A) 千葉市文化プラザ

日 時 2018年3月4日(日) 13:30(わくわく交流後援フェスティバル+A) 横浜市鶴見区サルビアホール

他、3月5日(練馬)、6日(宇都宮)、7日(福島)、8日(仙台市)、10日(国立オリンピック記念青少年センターホール／

14:00「本公演+ROMAFEST ジブシーダンスフェスティバル」)、12日(前橋市)、13日(長野市)、14日(富士市)

コメント 見どころは何といってもコロ舞踏特有の足裁きにある。それを一言で形容すれば、セルビア語の Suptilan(英語 Subtle 細かい)ということであろう。それが舞台の上で綺麗にそろったとき、輪の踊りの素晴らしさが一層引き立つことになる。これがまさにコロ(輪舞)の第一の見どころ醍醐味である。(チラシより一部を転記／文:セルビア民族舞踏愛好家 長江勝)

チケット 前売り4,500 円(3月10日を除く) 学生3,000円 小中高 1,500 円 ※詳細はホームページ参照

チケット申込み 042-679-3837 Fax042-679-3517 ホームページ <http://www.folklor.com>

♪ 音楽センターアコーディオン科 中部金曜教室 春のコンサート ♪ \* 入場無料 \*

日 時 2018年3月11日(日) 開場/13:30 開演/14:00

会 場 なかの芸能小劇場 ★JR 中央線「中野」駅北口から徒歩5分

曲 目 ショスタコーヴィチ「ジャズ組曲」よりワルツ第2番 男はつらいよ 碧空 小さな喫茶店 他

指揮・音楽指導 中山英雄・森陽介 ゲスト出演 山田千賀子(ソプラノ)

問合せ 03-2855-3419(鈴木) 03-3208-8377(音楽センター教育部)

「第29回関東アコ第 10 回実行委員会」のお知らせ

2018 年1月21日(日)18:00～ 会場 エデュカス東京(市ヶ谷)

■第30回関東アコ準備会に向けて ■伴奏講座会場取り ■東北アコジャンに向けた取り組み ■その他

